人権協会だより

河内長野市人権協会
思いやりとぬくもりのある人権尊重のまちづくり
vol. 27
-2026.11.1-

令和８年度 啓発活動重点目標（ 法務省人権擁護局 ）「 誰か 」のこと じゃない。

令和８年度（下期）活動予定

■人権を考える市民の集い

＜人権トーク＆コンサート＞

心元気に ～ 一歩踏み出せば風は変わる ～
講師：新井深絵さん
（ソウル・ゴスペルシンガー）


▲新井深絵さん

- 日時：１１月２８日（土）（開場 13：30）
- 場所：河内長野市立文化会館ラブリーホール
  supported by osakajuken 小ホール
- 第１部（14：00～14：30）式典
- 第２部（14：30～16：00）人権トーク＆コンサート
- 定員：３００名
- 申し込み：11 月 13 日までに市又は協会ホームページから（詳細は同ホームページをご覧ください）

■共に生きるまちづくりをめざして講演会

「ハンセン病問題とは何か～ハンセン病回復者と家族の生き方を通して学ぶ～」


▲加藤めぐみさん


▲山城清重さん

- 日時：令和９年１月 30 日（土）13：30～15：30
- 場所：河内長野市立市民交流センター JULiEN キックス 大会議室
- 講師：**加藤めぐみさん**（ハンセン病回復者支援センター）と
  山城清重さん（ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会共同代表）
- 定員：６０名

※申し込み等詳細は今後の市又は協会ホームページをご覧ください。

市民サロン（市役所１階）展示	子ども人権・平和啓発ポスター展（ＷＥＢ開催）	人権週間（12 月 4 日～10 日）啓発活動
・11 月 2 日～12 月 16 日 ・人権啓発展示「ハンセン病問題」「ヘイトスピーチ解消法」「拉致問題」ほかさまざまな人権問題等を展示	・11 月 2 日～令和 9 年 1 月 12 日 ・河内長野市人権協会ホームページにて、市内小中学生から募集した「人権・平和啓発ポスター」全 782 点の作品を公開	・11 月 27 日～12 月 11 日 ・河内長野・三日市町両駅前に啓発横断幕を設置するほか、市公用車に啓発マグネットステッカーを貼付

※ここに記載の行事等は、予告なく中止や変更になる場合があります。詳しくは人権協会のホームページをご覧ください。

＜ 人権カレンダー ＞（11 月～4 月）

◆11 月（児童虐待防止推進月間）



通話無料。
24 時間・
365 日受け
付けます。

１日～１２月１日　犯罪被害者月間
２０日　世界子どもの日
１２日～２５日
女性に対する暴力をなくす運動期間
２５日　女性に対する暴力撤廃国際日

◆12 月



１日　世界エイズデー
３日　国際障がい者デー
３日～　９日　障がい者週間
４日～１０日　人権週間
１０日　人権デー
１０日～１６日　北朝鮮人権侵害問題啓発週間

◆1 月

１５日～２１日　防災とボランティア週間
１７日　防災とボランティアの日



◆3 月（自殺対策強化月間）

◎NPO 法人 自殺対策支援センターライフリンク
＃ いのち SOS：0120-061-338
通話無料。毎日 24 時間。
◎一般社団法人 日本いのちの電話連盟
いのちの電話：0120-783-556
［ 通話無料。毎日午後 4 時～午後 9 時
毎月 10 日は午前 8 時～翌日午前 8 時 ］

８日　国際女性デー
２１日　国際人種差別撤廃デー
２１日　世界ダウン症の日



◆4月

２日　世界自閉症啓発デー
２日～　８日　発達障がい啓発週間

各 種 相 談 事 業

＜①女性のための電話相談＞

女性のためのつながりサポート河内長野

ひとりで悩みや不安を抱えていませんか？誰かに話せば気持ちが楽になるかも知れません。専門の女性カウンセラーがお聴きします。

専用電話：090-8967-2750

相談日時：毎月第１・３月曜日と第２・４木曜日の午前 10 時～午後 4 時（年末年始、祝日は休み）

＜②総合福祉相談＞



ＣＳＷ（地域支援相談員）の有資格者がご相談に応じます。
健康・医療・障がい・経済・生活基盤…、様々な問題を一緒に検討し、解決への糸口を探ります。
専用電話：090-6980-5532（ショートメール可）

＜③進路選択支援相談＞



奨学金をはじめ、お子様の進学（進学後も含む）に関する教育資金の調達方法、その他について、ご相談に応じます。
（電話 0721-53-1111 内線 575・577）

＜④人権あれこれ相談＞



人権問題のみに限らず、身の周りの様々な問題について、ご相談に応じ、一緒に検討します。
（電話 0721-53-1111 内線 575・577）

※上記②③④は市役所５階で対面でもお受けします。
事前に電話予約の上お越しください。
受付時間：平日の午前 9 時～午後 4 時 30 分

いじめ相談窓口

専用電話：0800-800-1233

いじめで悩んでいませんか？お悩みが解消するまで寄り添います。ためらわずにご相談ください。
受付時間：平日の午前 9 時～午後 4 時 30 分
＜担当＞市役所人権推進課いじめゼログループ

＜編集後記＞　人権推進へのご理解・ご支援のお陰を持ちまして、無事に 2026（令和８）年度前期の行事を滞りなく終えることができました。後期も皆様方のご期待に添えるようにがんばってまいります。引き続き、ご支援よろしくお願いいたします。

発行・編集：河内長野市人権協会
〒586-8501 大阪府河内長野市原町 1-1-1
（河内長野市役所 5 階 人権推進課内）
電話：0721-53-1111（内線 575・577） FAX：53-1955
https://www.kawachinagano-jinken.join-us.jp

令和８年度（上期）活動報告

■憲法週間啓発活動（４月30日 ～ ５月８日）

憲法週間（５月１日～７日）に、人権の大切さについて考えていただこうと、河内長野・三日市町両駅前ロータリーに横断幕を設置したほか、市の公用車にマグネットステッカーを貼付し、啓発に努めました。



▲憲法週間啓発横断幕（三日市町駅前で）

■令和８年度総会（５月27日・市役所で）

令和８年度の総会は、45名が出席（委任状提出者99名）し、市役所会議室で開催。令和８年度活動方針案や予算案など全議案について賛成多数により可決承認されました。



▲議案を提案する西端会長

■市役所１階市民サロン展示

（７月１日 ～ ８月14日）

「愛・いのち・平和展」のお知らせや小中学生の人権平和ポスター、ウクライナやガザなど戦時下にある地域の直近の国連ニュース（写真下）、北朝鮮の拉致問題などの展示に加え、自由に折り鶴を折ってもらう折り紙コーナーを設け、人権問題や平和について、市民らに訴えました。



■共に生きるまちづくりをめざして 映画「あん」上映会

（６月13日　キックスで）



ハンセン病問題を扱った映画「あん」（樹木希林ら主演）の上映会（写真右）を開催し、275名が来場しました。来場者からは、映画への深い感動と共にハンセン病や人種差別、様々な生きづらさについて考える機会になった、自分が恵まれていること、弱い立場の人へ寄り添う大切さに気づいた、などの感想が寄せられました。

会場内には国立ハンセン病資料館からお借りした「多磨全生園」の写真パネルを展示。強制収容された患者さんらの過酷な暮らしの様子を、写真と解説で紹介するもので、樹木希林さんが演じた徳江さんが過ごした療養所の舞台であり、ロケ地でもあります。来場者はこのパネル展示も熱心に鑑賞されていました（写真下）。



●ハンセン病問題

1907 年から始まったハンセン病患者の強制隔離政策は、1996 年の「らい予防法」廃止により終了するまで、約 90 年間も続けられました。治療薬が発表されてからも 50 年以上も継続され、多くの方々が療養所で亡くなりました。

その後の「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟、ハンセン病家族国家賠償請求訴訟を経て、患者や元患者、その家族らへの国による謝罪、賠償、名誉の回復措置は取られています。

しかし、映画「あん」で描かれていたように、未だに偏見や差別は当事者を苦しめています。強制隔離が解かれても、多くの方々が家族の元に帰ることができず、死んでも療養所内の納骨堂に眠る状況が今も続いているのです。

河内長野市と河内長野市人権協会では、さらにハンセン病問題に関する理解が広がるよう、１月に講演会を予定しています（１面参照）。ぜひご来場ください。

いま一度考えよう！平和といのちの大切さ

愛・いのち・平和展

７月24日・25日　キックス

「いま一度考えよう！平和といのちの大切さ」をテーマに開催。ピースおおさかからお借りした「大阪空襲・市民生活パネル」（写真左）をはじめ、小中学生による人権平和啓発ポスター、世界の紛争状況を報道する国連ニュース、広島長崎被爆の実相パネル、美加の台中学校による千羽鶴の献納報告、市民らから寄せられた戦時品などの展示のほか、府立長野高校フォークソング部＆和太鼓部「虓」、清教学園グレイス聖歌隊、詩吟でボイトレ、ママさんブラス milk-tea のみなさんらによる愛いのち平和音楽会、アニメ映画「めぐみ」「火の海・大阪」の上映などを行いました。





▲小中学生による人権平和啓発ポスター

両日合わせて５１０人の市民らが訪れ、子どもからお年寄りまで、バルーンアートづくり（写真左）や会場内を巡るスタンプラリーなどで楽しみながら、それぞれに平和といのちの大切さについて考えていただきました。





▲「愛と平和！」「Love&Peace!」とシャウトしてくれた府立長野高校フォークソング部のみなさん

千羽鶴を広島へ

５月27日　美加の台中学校



市民のみなさんらが平和の祈りを込めて折った千羽鶴を、美加の台中学校にお願いし、広島への修学旅行の際に平和記念公園の原爆の子の像の献納台に納めていただきました（写真上）。

夏休み子ども平和施設見学会

８月20日　稲むらの火の館（和歌山県広川町）ほか

小学生とその保護者に平和といのちについて考えていただこうと開催。18名が参加しました。稲むらの火の館は、1854 年の大津波の際、刈り取ったばかりの稲の束に次々に火をつけて住民らを高台へ誘導することで多くのいのちを守り、さらに未来の平和をめざして堤防を築くなど復興に尽力した濱口梧陵さんのことや、津波の発生、防災のことを学べる施設です。館内では、館長さんの説明や津波の発生の様子を再現する模型、津波の恐ろしさを体感できる３D映像シアター、紙芝居などを通して、また、濱口さんが多くの私財を提供し完成させた「広村堤防（国指定史跡）」をバス車内から見学することで、防災と平和、いのちの大切さを学んでいただきました。



▲津波の発生を再現する様子に見入る参加者